

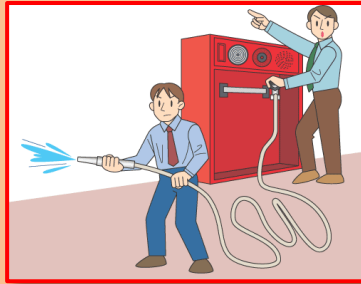
# 消火訓練Ⅲ（屋内消火栓設備編②）

火災発見！

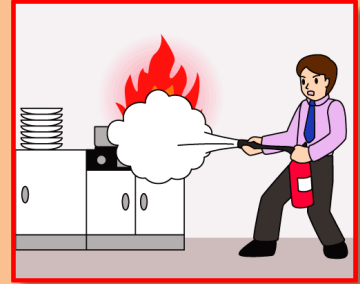


周囲の人に火災を知らせます。

## 初期消火



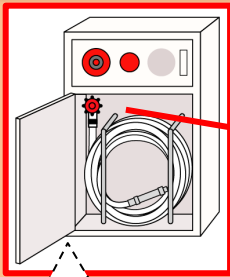
被害を最小限に



※火災の初期段階における初期消火は、非常に重要です。火災による人的被害、物的被害の軽減のため、いつでも誰でもが実施できるように日頃から訓練しておきましょう。

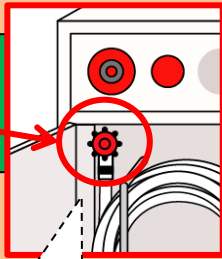
## 2号、広範囲2号、易操作性1号消火栓の使い方

1人で操作ができます



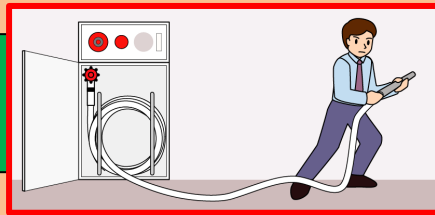
### ポンプ起動！

起動方法は様々あります。



### バルブ開放！

バルブを全開放します。



すべて出し切る必要はありません。

### 放水はじめ！

ノズルの操作で放水することができます。



### 起動方法を確認しておきましょう！

起動方法は、押しボタン、発信機兼用、バルブ開放時、ホース延長操作時など。

## これらの消火栓のポイント

- 普段から、建物の消火栓の種類、使用方法、位置を確認しておきましょう。
- 屋内消火栓設備からは「水」が出ますので、電気火災、油火災には対応していません。
- 炎や煙に放水するのではなく、燃えている「物」に対して放水しましょう。
- これらの消火栓は、基準により、有効範囲は15m、射程距離は7~10mとなっています。
- 放水中にノズルから手を離すと大変危険です。絶対に手を離さないようにしましょう。
- 初期消火は、必ず「避難路（逃げ道）」を確保して実施しましょう。
- 訓練は、点検業者等の立ち会える消防用設備等の点検日などに実施すると効果的です。
- 使用後は、使用前の状態に戻して、以後の維持管理に努めてください。
- 訓練する場合は、安全を管理する担当者を決め、事故防止に努めましょう。

